



住民自らの行動に結びつく
水害・土砂災害ハザード・リスク
情報共有プロジェクト

資料3

由良川メディア連携協議会の取組(案)について

令和3年3月10日

福知山河川国道事務所

項目	全体会議 (本省)	由良川 メディア 連携 協議会
A: 災害情報単純化プロジェクト		
①水害・土砂災害情報統合ポータルサイトの作成	●	●
②DiMAPSIによる災害ビッグデータを含む事前情報・被害情報の一元表示	●	●
③一元的な情報伝達・共有のためのLアラート活用	●	—
④「ワンフレーズ・マルチキャスト」の推進	●	●
⑤災害情報(水害・土砂災害)用語・表現改善点検会議の実施	●	●
⑥天気予報コーナー等での水害・土砂災害情報の平常時からの積極的解説	●	●
⑦災害の切迫状況に応じたシームレスな情報提供	●	●
B: 災害情報我がことプロジェクト		
⑧地域防災コラボチャンネルの普及促進	●	●
⑨水害リスクラインによる地先毎の危険度情報の提供	●	●
⑩ダム下流部のリスク情報の共有	—	●
⑪ダムの状況に関する分かりやすい情報提供	●	●
⑫天気予報コーナー等での地域における災害情報の平常時からの積極的解説	●	●
⑬テレビ、ラジオ、ネットメディア等と連携した「マイ・タイムライン」の普及促進	●	●
⑭マイ・ページ～一人一人が必要とする情報の提供へ～	●	—
⑮スマホアプリ等の活用促進に向けた災害情報コンテンツの連携強化	●	●
C: 災害リアリティー伝達プロジェクト		
⑯河川監視カメラ画像の提供によるリアリティーのある災害情報の積極的な配信	—	●
⑰ETC2.0やデジタルサイネージ等を活用した道路利用者への情報提供の強化	●	—
⑱水害・土砂災害情報を適切に伝えるため専門家による解説を充実	—	●

項目	全体会議 (本省)	由良川 メディア 連携 協議会
D: 災害時の意識転換プロジェクト		
⑲住民自らの避難行動のためのトリガー情報の明確化	●	●
⑳緊急速報メールの重要性の住民への周知	—	●
㉑緊急速報メールの配信文例の統一	●	—
E: 災害情報メディア連携プロジェクト		
㉒新聞等の紙メディアとネットメディアの連携	—	●
㉓テレビ等のブロードキャストメディアからネットメディアへの誘導	—	●
㉔様々なメディアでの行政機関の災害情報サイトの活用	—	●
㉕災害情報のSNSへの発信力の強化	●	●
㉖行政機関によるSNS公式アカウントを通じた情報発信の強化	—	●
㉗ハッシュタグの共通使用、公式アカウントのリンク掲載による情報拡散	●	●
㉘SNS等での防災情報発信及びリツイート	—	●
㉙災害の切迫状況に応じたシームレスな情報提供 【再掲】	●	—
㉚地方におけるメディア連携協議会の設置	—	●
㉛水害・土砂災害情報のオープンデータ化の推進	●	—
F: 地域コミュニティ避難促進プロジェクト		
㉜「避難インフルエンサー(災害時避難行動リーダー)」となる人づくり	●	●
㉝登録型のプッシュ型メールシステムによる高齢者避難支援「にげなきやコール」	●	●
㉞電話とAIを用いた災害時高齢者お助けテレフォンの開発	●	—
㉟ETC2.0やデジタルサイネージ等を活用した道路利用者への情報提供の強化	●	—

※全体会議:住民の行動に結びつく水害・土砂災害ハザードリスク情報共有プロジェクト
(以下、「共有プロジェクト」とする)

①水害・土砂災害情報統合ポータルサイトの作成

A：災害情報単純化プロジェクト
 ~災害情報の一元化・単純化による分かりやすさの追求~

○これまで情報発信者がそれぞれ提供してきた災害情報をひとまとめで確認できるよう、気象情報、水害・土砂災害情報および災害発生情報等を一元的に集約したポータルサイトを作成する。

⇒川の防災情報のポータルサイト(PC版、スマホ版)運用開始

⇒水害リスクラインの提供開始

※青字:共有プロジェクトでの取り組み

由良川の取組(案)

○ポータルサイトについて、由良川メディア連携協議会で情報共有を行い、由良川流域4市（福知山市、綾部市、舞鶴市、宮津市）の住民への周知

アクセス集中回避として
 NHKとYahoo!の防災サイトをリンク

関係機関の防災サイトへのリンク

川の防災情報



②DiMAPSによる災害ビッグデータを含む事前情報・被害情報の一元表示

A：災害情報単純化プロジェクト
～災害情報の一元化・単純化による分かりやすさの追求～

○浸水想定区域図など災害に関するデータを今後ますます充実させていくとともに、ビッグデータは処理や表示に時間がかかることから、それらのビッグデータをDiMAPS上でスピーディーに表示できるようにシステム改良を行う。

⇒大容量データの迅速な表示機能を実装。

⇒携帯端末用表示に対応。

※青字:共有プロジェクトでの取り組み

由良川の実践(案)

○DiMAPSについて、由良川メディア連携協議会で情報共有を行い、由良川流域4市（福知山市、綾部市、舞鶴市、宮津市）の住民へ周知

1) 浸水想定区域図など大容量データの迅速な表示

浸水想定区域図等の大容量データの表示をパソコンや携帯端末でスムーズに行うための画像タイルに変換し地図表示を迅速に行う。



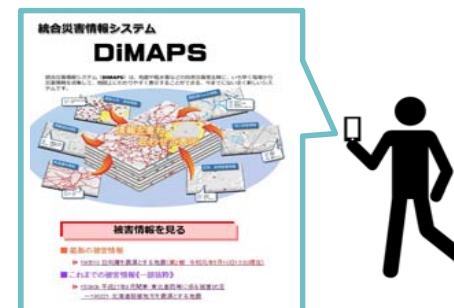
浸水想定区域図

3) ETC2.0をはじめとする車両プローブ情報の活用

ETC2.0をはじめとする車両プローブ情報も活用し、緊急物資の輸送や一般利用者への通行可否情報の提供等、情報提供の強化を図り、災害対応への支援を強化する。

2) 携帯端末用表示対応

閲覧する端末に適切な文字サイズや配置で画面表示できるように調整



車両プローブ情報の活用事例
(広島市・呉市周辺通れるマップ※)

※現地調査、官民の車両プローブ情報を基に作成

④「ワンフレーズ・マルチキャスト」の推進

A : 災害情報単純化プロジェクト
 ~災害情報の一元化・単純化による分かりやすさの追求~

○水害・土砂災害情報について、短いフレーズで意味を伝えられるように言葉を共通化しあらゆるメディアで共通して使用する「ワンフレーズ・マルチキャスト」を推進する。また、ラジオなど音声での伝達を想定し、情報配信の際には読み仮名を付けて配信する。
 ⇒洪水情報等の短いフレーズでの伝達、読み仮名を付した配信を実施。
 ⇒観測所等の読み仮名データベースWeb開設、読み仮名リストを各メディアに配布。 ※青字: 共有プロジェクトでの取り組み

由良川の取組(案)

- 簡素化した洪水予報文の見出し文を参考に、各メディアにおいて伝達。加えて、各メディアの特性に応じて補足情報を追加する。
- 観測所等の読み仮名リストを配布

発表者 国土交通省 気象庁	第1発報者 福岡山川河川国道事務所 京都地方気象台	第2発報者	第3発報者
機関名	機関名	機関名	機関名

演習

由良川下流氾濫注意情報

由良川下流洪水予報第1号
洪水注意報(発表)
令和2年07月01日10時50分

福岡山川河川国道事務所 京都地方気象台 共同発表

(見出し)

【警戒レベル2相当情報【洪水】】由良川下流では、氾濫注意水位に到達し、今後、水位はさらに上昇する見込み

(注 文)

【警戒レベル2相当】由良川の福岡山水位観測所(福岡山市)では、1日10時30分頃に、「氾濫注意水位」に到達し、今後、水位はさらに上昇の見込みです。洪水に関する情報に注意して下さい。

(雨量)

多いところで1時間に30ミリの雨が降っています。
この雨は当分この状態が続くでしょう。

流域	30日03時00分~01日10時30分までの流域平均雨量	01日10時30分~01日13時30分までの流域平均雨量の見込み
由良川流域	100ミリ	50ミリ

(水位)

由良川下流の水位観測所における水位は次の通りと見込まれます。

観測所名	水位危険度		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
	水位(m)又は流量(m ³ /s)	水防団待機	注意	避難判断	避難	危険
福岡山水位観測所(福岡山市)	01日10時30分の状況	4.10				
	01日11時30分の予測	4.30				
	01日12時30分の予測	4.50				
	01日13時30分の予測	4.70				

水位のグラフは各水位間を按分したものです。
水位危険度レベル4については、氾濫危険水位と計画高水位を按分しており、氾濫危険水位=計画高水位の場合は最大になります。

(注意事項)

これは訓練電文です。

(参考資料)

(単位:水位(m)又は流量(m³/s))

洪水情報(例)

よみがな

【○○県を流れる○○川で河川氾濫発生(レベル5)】

○日○時○分、○○県を流れる○○川に河川氾濫発生情報が発表された。

よみがな

○○地方整備局○○河川事務所、

よみがな

○○地方気象台の発表内容は以下のとおり。

○○川では、氾濫が発生(レベル5)

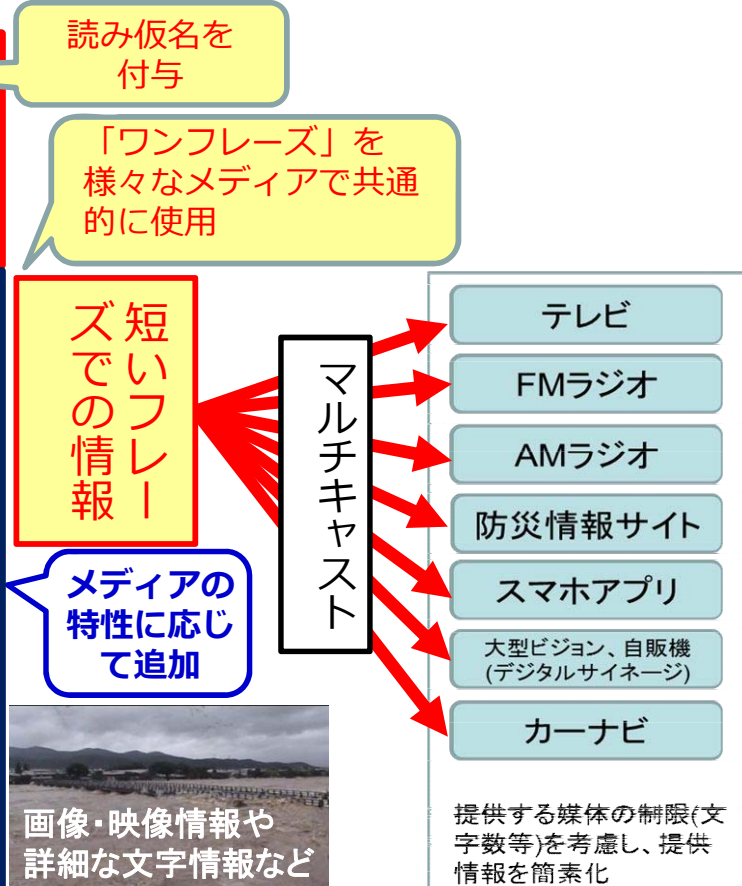
よみがな

「○○川では、○○地先付近において氾濫が発生しました。(レベル5)直ちに、市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとって下さい。」

...

ワンフレーズ

補足情報



⑤災害情報(水害・土砂災害)用語・表現改善点検会議の実施

A：災害情報単純化プロジェクト
～災害情報の一元化・単純化による分かりやすさの追求～

○水害・土砂災害関連の記者発表内容や情報提供サイト等について、内容や用語が分かりやすいか、また、放送で使いやすいか等の観点から情報発信者である行政関係者と情報伝達者である気象キャスター等が連携して定期的に点検を行い、結果を踏まえて用語や表現内容の改善を図る。

⇒気象キャスターとの用語改善点検会議開催。

※青字：共有プロジェクトでの取り組み

⑥天気予報コーナー等での水害・土砂災害情報の平常時からの積極的解説

A：災害情報単純化プロジェクト
～災害情報の一元化・単純化による分かりやすさの追求～

○行政機関と気象キャスターとの平常時からの連携を強化し、梅雨や台風シーズン期の平時の天気予報や気象情報の放送時に、気象キャスターが水害・土砂災害時に発表される情報について解説し、どのような種類の情報がどのような順番でどのようなタイミングで出てくるのか等を視聴者に分かりやすく伝える。

⑫天気予報コーナー等での地域における災害情報の平常時からの積極的解説

B：災害情報我がことプロジェクト
～災害情報のローカライズの促進と個人カスタマイズ化の実現～

○行政機関と気象キャスターとの平常時からの連携を強化し、梅雨や台風シーズン期の平時の天気予報や気象情報の放送時に、気象キャスターがその地域に根ざしたハザード情報、リスク情報、水害・土砂災害情報等、河川の特徴や観測所の見方等を解説する。

⇒各地域メディア連携協議会において、分かりにくい表現等について意見交換。

⇒各地域において、気象キャスターなどが利用できる解説材料を作成・配布

※青字：共有プロジェクトでの取り組み

由良川の取組案については次のページに記載



由良川の取組(案)

○行政関係者と報道関係者(記者、キャスター含む)の意見交換会(共同勉強会)などを実施し、メディア関係者と用語や表現内容の点検・改善を行う。

○報道関係者(記者、キャスター含む)との水害・気象情報等に関する意見交換会(共同勉強会)



意見交換会の開催イメージ

<川の防災情報の概要>



<水害リスクラインの概要>



由良川における取組事例(京都地方気象台)

- 気象庁ホームページにて危険度分布及び雨雲の動きに加え気象等に関する防災気象情報を11か国語で提供開始、令和2年4月から同情報を14か国語に拡充して提供開始。また、同情報の意味や取るべき行動を訪日外国人の方々にご理解いただけるよう、新たに解説を掲載。
- 「自らの命は自らが守る」基本的な知識ととるべき行動について多くの方に学んでいただける学習教材（eラーニング「大雨のときどう逃げる」）の提供開始（令和2年5月28日）



Home > Other Languages

Multilingual Information on Disaster Mitigation

Languages	Content
English	Weather (weather, heavy rain, high temperature, etc.)/earthquake/tsunami/volcano information
簡体中文	气象(天气、大雨、高温等)・地震・海啸・火山相关的信息
繁体中文	氣象(天氣、大雨、高溫等)・地震・海嘯・火山相關的資訊
한국어	기상(날씨, 호우, 고온 등) · 지진 · 지진해일(쓰나미) · 화산에 관한 정보
Português	Informações sobre Meteorologia (tempo, chuvas fortes, altas temperaturas, etc.) · Terremoto · Tsunami · Vulcão
Español	Información Meteorológica (tiempo, lluvia torrencial, alta temperatura, etc.) · Terremoto · Tsunami · Volcán
Bahasa Indonesia	Informasi tentang cuaca (cuaca, hujan lebat, suhu tinggi, dll.), gempa bumi, tsunami, dan gunung berapi
Tiếng Việt	Thông tin liên quan để n khí tượng (thời tiết, mưa to, nhiệt độ cao v.v.) - động đất - sóng thần - núi lửa
Tagalog	Mga impormasyon tungkol sa panahon (lagay ng panahon, malakas na ulan, mataas na temperatura, atbp), lindol, tsunami at bulkan
ภาษาไทย	ข้อมูลเกี่ยวกับลักษณะและอากาศ (สภาพอากาศ เช่นฝนตก ลมพายุสูง ฯลฯ) และอันตราย สึนามิ และภูเขาไฟ
नेपाली भाषा	मौसम (मौसम, ठूलो वर्षा, उच्च तापक्रम आदि), भूकम्प, सुनामी, ज्वालामुखी पहाड सम्बन्धी जानकारी
ភាសាខ្មែរ	ព័ត៌មានអំពី អាកាសធាតុ(ត្រីមាស ខ្លាំង ដ៏គួរឱ្យកត់សម្គាល់) / ការរញ្ជួយដី / រលកស៊ុនាមី / ភ្នំភ្លើង
မြန်မာဘာသာစကား	ရာသီဥတု (မိုးလေဝသ၊ မိုးကြိုးခြင်း၊ အပူချိန်များခြင်းစသည်)၊ ဝင်္ဂလင်္ကာ၊ အုန်တိုင်း၊ မီးဘောင်နှင့်ဝင်္ဂလင်္ကာတို့ ဝင်ရောက်အလုပ်
Монгол хэл	Цаг үүр (Цаг агаар, Аадар бороо, Өндөр агаарын хэм зэрэг), газар хөдлөлт, цунами, галт уултай холбоотой мэдээ
日本語	気象(天気、大雨、高温など)・地震・津波・火山に関する情報

気象庁HPの多言語での情報提供

5つの動画教材を視聴し、身近な災害リスク、避難行動に係る基本的な知識を学びます。
 ステップIから順番に以下の動画教材を選択し、視聴してください。
 ※ふりがなを付し視聴時間の短縮を図る等、内容を一部更新(令和2年9月)

- ステップ I | 避難を行うためのポイントを理解しよう >
- ステップ II | あなたの家の「災害リスク」を知ろう >
- ステップ III | 大雨の時の避難先 >
- ステップ IV | 「避難行動」を考えよう >
- ステップ V | あなたの避難のタイミングを考えよう >

eラーニング教材なので、感染症拡大防止策を気にする必要はありません

ページトップへ戻る >

eラーニング「大雨のときどう逃げる」

出典: <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/jma-el/dounigeru.html>

⑦災害の切迫状況に応じたシームレスな情報提供

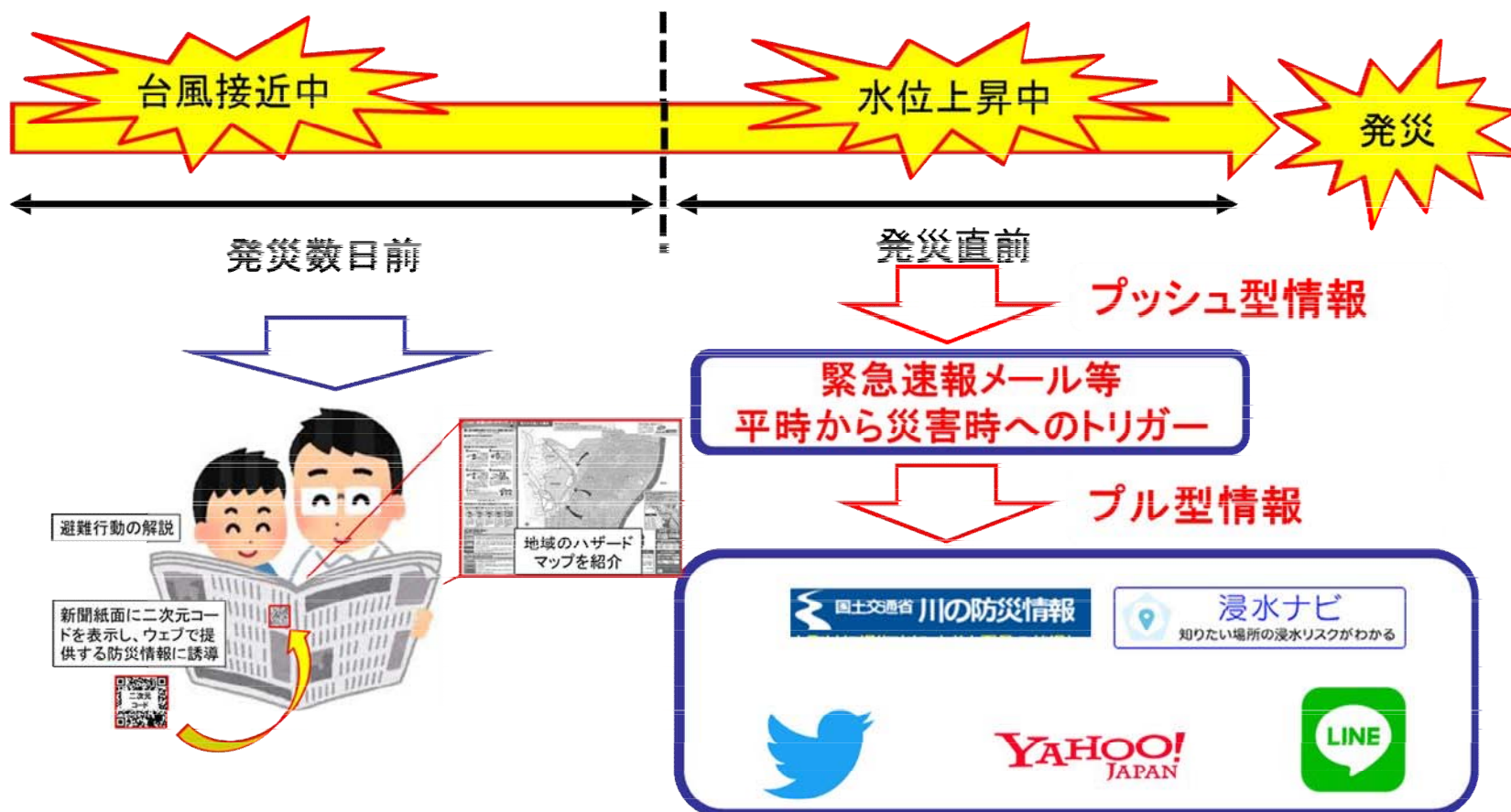
A：災害情報単純化プロジェクト
～災害情報の一元化・単純化による分かりやすさの追求～

○台風接近の状況下など住民の関心が高まりつつある時点では、避難行動を解説する記事の掲載や、ハザードマップや災害情報ポータルサイトの紹介を行い、一方で、発災直前には、緊急速報メール等のトリガー情報を契機としてより詳細なプル型のネット情報に誘導して危険情報を的確に伝えるなど適時適切でシームレスな情報を提供する。

⇒ハザードマップや災害情報ポータルサイトの紹介を引き続き実施し、SNSや川の防災情報、浸水ナビで危険情報を発信する。
※青字：共有プロジェクトでの取り組み

由良川の取組(案)

○各機関のホームページのトップに、防災情報へのリンクを分かりやすく配置することで、防災情報を入手しやすくする



○ケーブルテレビ事業者が有する地域密着性というメディア特性を活かして、コミュニティFM等のラジオ放送からの音声放送や国土交通省の河川監視カメラ映像とのコラボレーション放送により、より身近な地域の防災情報を住民に届け、的確な避難行動につなげる。

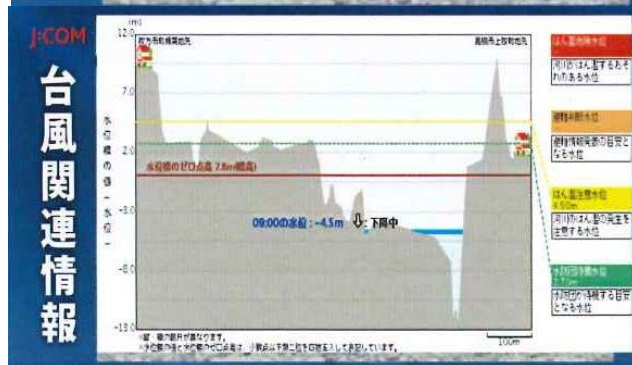
⇒国交省と日本ケーブルテレビ連盟間で河川情報等の提供に関する協定を締結。

⇒CATVにおいて、災害時に水位、カメラ映像を放送。

※青字：共有プロジェクトでの取り組み

由良川の取組(案)

○より地域に密着した防災情報を住民に発信することを目的として、テレビ放送局や新聞社と連携し、防災コンテンツ等を検討・構築



整備局	該当事務所	ケーブルテレビ事業者
北海道	帯広開発建設部	株式会社帯広シティーケーブル
東北	秋田河川国道事務所	秋田ケーブルテレビ株式会社
関東	京浜河川事務所	イツツ・コミュニケーションズ株式会社 YOUテレビ株式会社
	利根川上流河川事務所 渡良瀬川河川事務所 下館河川事務所	ケーブルテレビ株式会社
	千曲川河川事務所	株式会社インフォメーション・ネットワーク・コミュニティ
北陸	高田河川国道事務所	上越ケーブルテレビジョン株式会社
	木曾川上流河川事務所	シーシーエヌ株式会社
中部	豊橋河川事務所	株式会社キャッチネットワーク
近畿	猪名川河川事務所 淀川河川事務所	株式会社ベイ・コミュニケーションズ 株式会社ジュピターテレコム (近畿整備局エリア内)
	太田川河川事務所	株式会社ちゅびCOMひろしま 株式会社ちゅびCOMふれあい
中国	日野川河川事務所	株式会社中海テレビ放送
四国	野村ダム管理所、山鳥坂ダム工事事務所	西予CATV株式会社 株式会社ケーブルネットワーク西瀬戸
	延岡河川国道事務所 武雄河川事務所	株式会社ケーブルメディアワイワイ 株式会社ケーブルワン

河川監視カメラ映像等を活用したテレビ放送イメージ

⑨水害リスクラインによる地先毎の危険度情報の提供

B：災害情報我がことプロジェクト
～災害情報のローカライズの促進と個人カスタマイズ化の実現～

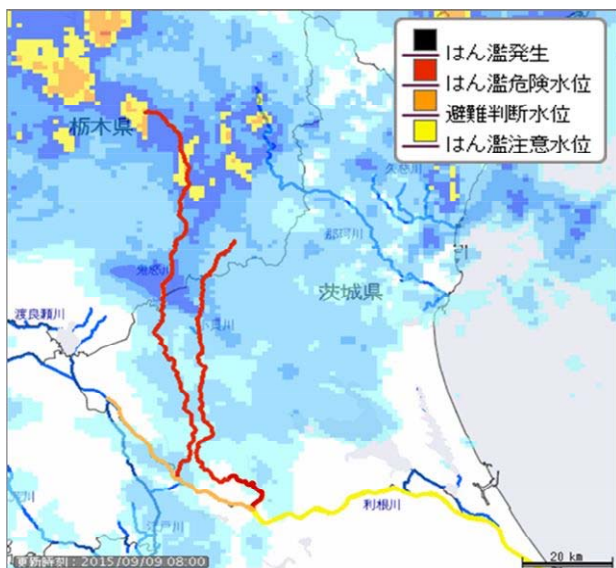
○地域のリスク情報を充実させるものとして、上流から下流まで連続して洪水危険度を把握し、水位の実況値や予測値を分かりやすく表示する「水害リスクライン」により地先毎の危険度情報を提供する。

⇒国が管理する全109水系で提供開始。

※青字：共有プロジェクトでの取り組み

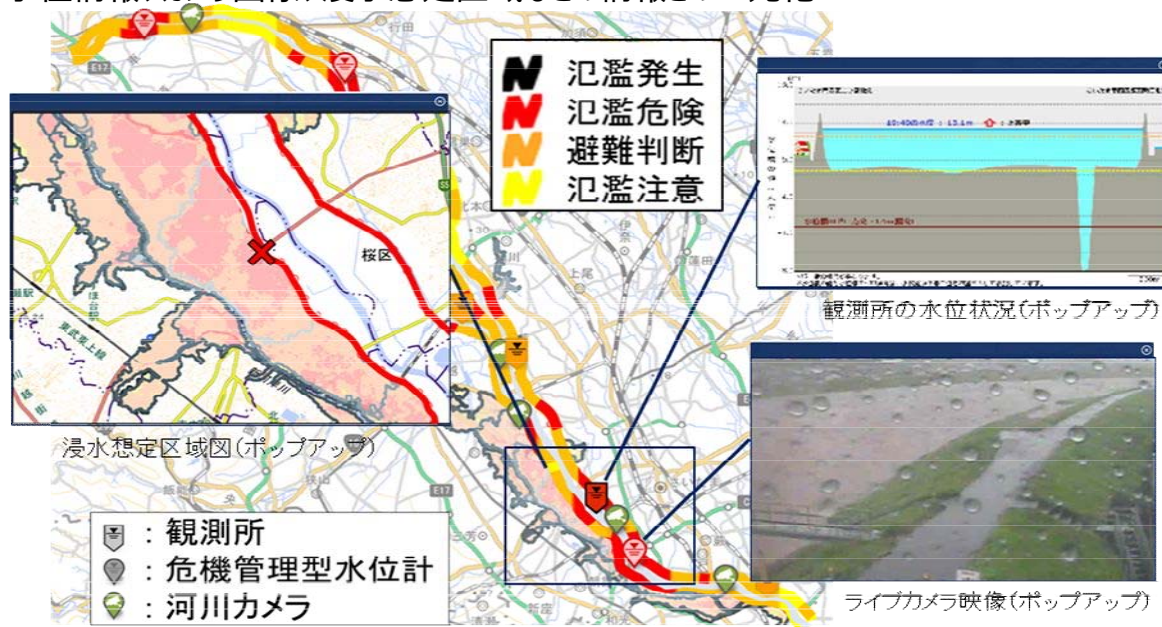
現行の洪水予報・危険度の表示

一連の区間の中で最も危険な場所にあわせて発令されているために、場所によっては、身近な地点の危険度や住民との切迫感とのずれが発生。



水害リスクラインを活用した洪水予報・危険度の表示

河川の区間毎や氾濫ブロック毎といったきめ細かな洪水情報等を実施するとともに、水位情報、カメラ画像、浸水想定区域などの情報との一元化



洪水予報の充実

これまでの3時間先の水位予測に加え、最高水位やその時間等の情報も提供するなど洪水予報の内容を充実

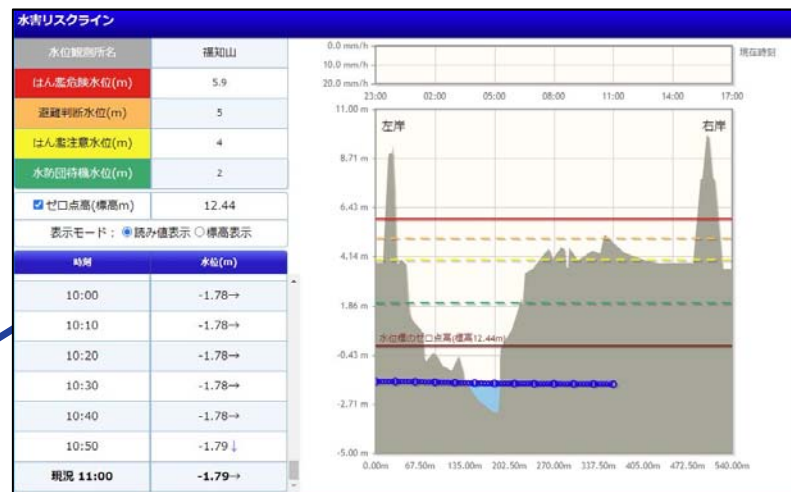
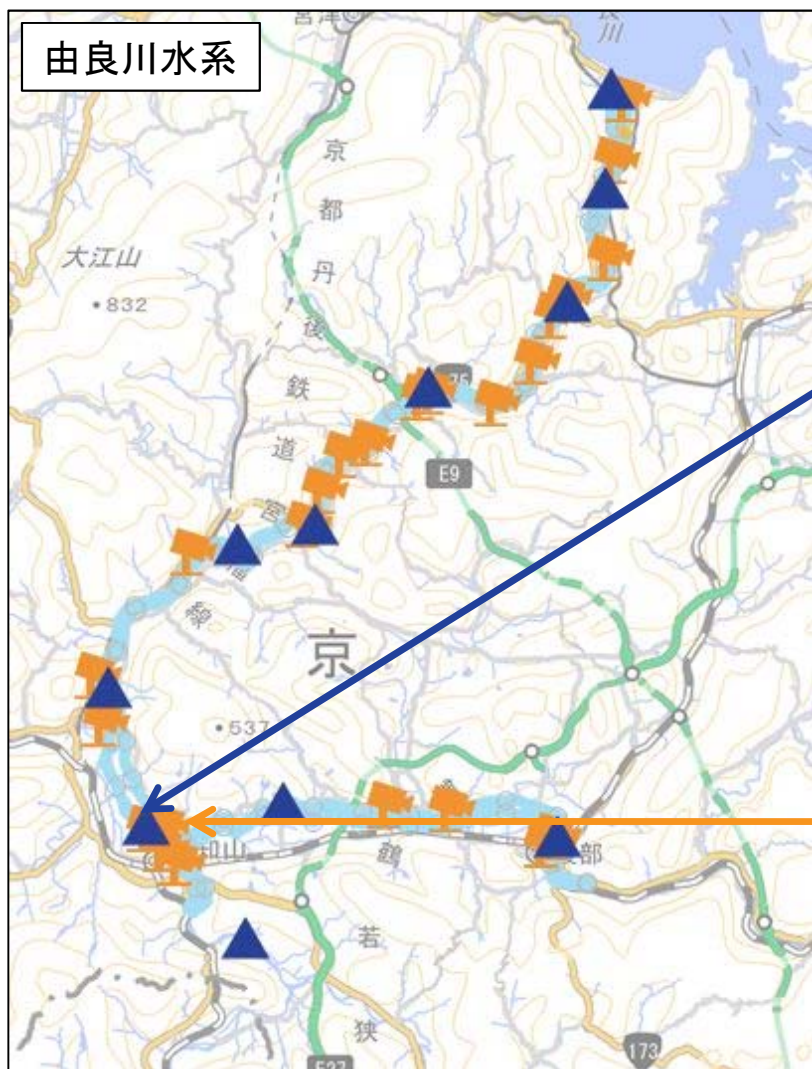
洪水の危険度、切迫性をわかりやすく提供することで、住民の避難行動が円滑化

由良川を取組案については次のページに記載

由良川の取組(案)

○一般向けに提供を開始した「水害リスクライン」の機能や得られる危険度情報の見方等について情報共有し、メディア関係者と意見交換会（共同勉強会）を行い、由良川流域4市町の住民（視聴者等）に周知

○水害リスクライン表示



観測所地点の水位変化を確認できる



平常時と現在のカメラを比較できる

⑩ダム下流部のリスク情報の共有

○地域のリスク情報を充実させるものとして、ダム下流部において、想定最大規模降雨により当該河川が氾濫した場合の浸水想定図の作成・公表等を通じ、住民等に対して平常時からリスク情報を提供し、洪水時における住民等の円滑かつ迅速な避難の確保等を図る。

⇒直轄及び水資源機構管理ダム(約100ダム)下流の浸水想定図を作成・公表。
大野ダムにおいても公表済み

※青字: 共有プロジェクトでの取り組み



大野ダムの
ダムライブカメラ映像
(京都放送HP)
(R3.3.4に取得した画像)

大管発第 号
通知(受信確認が必要です)

最重要
大野ダム

防災操作による貯留開始(1時間前)の通知
《洪水調節開始1時間前の通知》

平成 年 月 日 時 分
大野ダム 総合管理事務所

防災操作による貯留へ移行の進捗が、
河川水位の情報に注意!

大野ダムでは、約1時間後(日 時 分)、ダムに流れ込む水の量が洪水量(毎秒500m³)に達し、防災操作による洪水調節を開始する見込みです。
防災操作による洪水調節を開始した後は、流入量がゼロと等しくなるまで、洪水調節を行います。

河川監視カメラの自由川洪水予測・水防監視に注意して
また、河川内やその周辺には立ち入りしないでください。

模式図と数値により
下流水位情報を追加

1. ダム状況(目 時 分現在) [受信は速報値]

ダムに流れ込んでいる水の量
毎秒 m³

ダムから流れている水の量
毎秒 m³

洪水調節可能な空容量
毎秒 m³

大野ダム
ダム貯水水位: EL.175.00m
洪水調節容量に対する
空容量の割合: %

2. ダム下流河川水位(目 時 分現在)

自由川
観測所水位: 4.0m
水防警戒水位: 2.0m
水防緊急水位: 1.0m

福知山
観測所水位: 5.0m
水防警戒水位: 3.0m
水防緊急水位: 2.0m

大野発電所放流量: 毎秒 m³

※河川の防災情報(洪水予報) <http://www.river.go.jp/crs/0001d.htm>
※大野ダムホームページ <http://www.onodad.jp/dam/0001/index.html>

防災情報	種別	発信先	発信時刻	発信内容	備考
自由川	FAK	①: 075-702-5115 ②: NTF 075-414-5314 ③: 075-702-5148	①: 075-702-5115 ②: NTF 075-414-5314 ③: 075-702-5148		
嵯峨川	FAK	①: 嵯峨川 ②: 075-717-4100 ③: 075-717-4100	①: 嵯峨川 ②: 075-717-4100 ③: 075-717-4100		
丹波川	FAK	①: NTF 073-84-1132 ②: NTF 073-84-1132 ③: 073-84-1132	①: NTF 073-84-1132 ②: NTF 073-84-1132 ③: 073-84-1132		
上流	FAK	①: NTF 073-22-3164 ②: 073-22-3164 ③: 073-22-3164	①: NTF 073-22-3164 ②: 073-22-3164 ③: 073-22-3164		
丹波川	FAK	①: NTF 073-27-5150 ②: 073-27-5150 ③: 073-27-5150	①: NTF 073-27-5150 ②: 073-27-5150 ③: 073-27-5150		
丹波川	FAK	①: 073-424-4100 ②: NTF 073-27-4100	①: 073-424-4100 ②: NTF 073-27-4100		

大野ダムの放流連絡様式

⑪ダムの状況に関する分かりやすい情報提供

○ダム放流量や貯水池への流入量等の情報に加え、貯水位の状況、ダム下流河川の状況、カメラ映像等の情報をテレビ等のメディアを通じて住民に提供する。

⇒分かりやすいダム放流通知文の運用を開始。
⇒ダムカメラ映像の配信を開始。

※青字: 共有プロジェクトでの取り組み

由良川の取組(案)

- 平常時及び洪水時のダム下流域におけるリスク情報を分かりやすく提供・周知
- 放流連絡、放流警報及びダム情報ホームページについて、より分かりやすく緊迫感が伝わる文面・画面に修正。
- ダム湖映像を公開。

由良川における取組事例(京都府)

- 緊迫感が伝わる放流連絡様式の改定
- 貯水池のカメラ画像を確認可能にする等、視覚的に伝わりやすいホームページの内容改善
- 府民等にダムの役割や仕組みを解説し、大野ダムの啓発用マンガの制作
- ダムの異常洪水時防災操作(緊急放流)について、令和2年度から報道機関へ情報提供を開始

⑬テレビ、ラジオ、ネットメディア等と連携した「マイ・タイムライン」の普及促進

B：災害情報我がことプロジェクト
～災害情報のローカライズの促進と個人カスタマイズ化の実現～

○「逃げ遅れゼロ」の実現のため、テレビ、ラジオ、ネットメディア等と連携して、一人一人の災害時の防災行動計画（「マイ・タイムライン」）の検討の手引きや策定ツールを全国で共有するとともに専門家を紹介する等により、「マイ・タイムライン」の普及拡大を図る。
⇒マイタイムラインの検討の手引きや、策定ツールを共有し、マイタイムラインの専門家育成のための講習会を開催。

※青字：共有プロジェクトでの取り組み

由良川の取組(案)

○マイタイムラインの必要性や、策定ツール、作成方法の講習会等の情報を、由良川メディア連携協議会で情報共有を行い、由良川流域4市（福知山市、綾部市、舞鶴市、宮津市）の住民へ周知

○マイ・タイムラインとは？

災害状況の変化に応じて自分自身の家族構成や生活環境に応じた“自分の逃げ方”のような防災行動を住民一人一人があらかじめ検討し、とりまとめたもの。



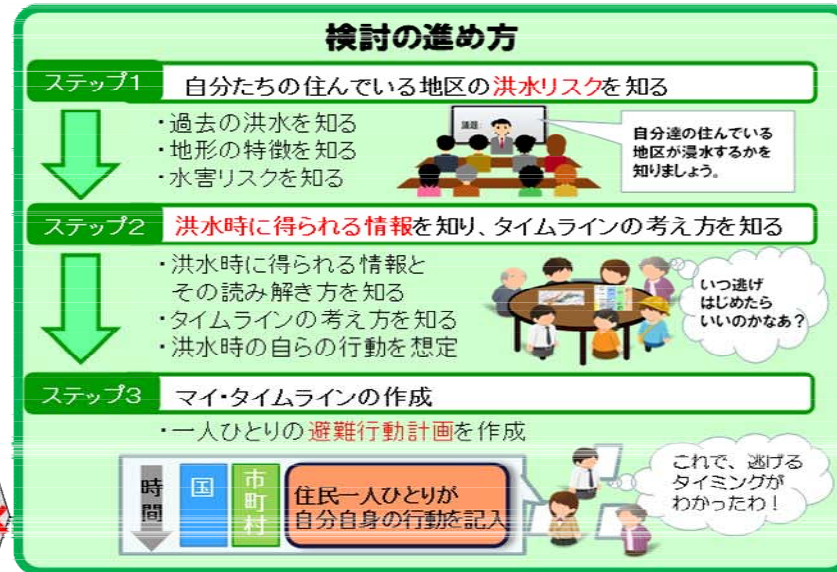
避難行動に必要な情報の例

- 地区の特性
- 過去の水害
- 地形の特徴
- 最近の雨の降り方と傾向
- 浸水想定
- 避難行動を判断する時に有効な情報
 - ・台風・降雨・河川・避難情報等
- 情報を知る手段
 - ・テレビ、ラジオ、Webサイト、スマートフォン

知る
気づく
考える

「マイ・タイムライン」

※「マイ・タイムライン検討の手引き」より
(鳥取川・小見川下流域大規模氾濫に関する被災対策協議会)



テレビ、ラジオ、ネットメディアと連携

- ・検討の手引き
- ・作成支援ツール等を共有

○マイ・タイムラインの作成方法



取組・支援

- ・水災害について豊富な知見を有する専門家
- ・マイタイムラインの進め方をサポートする人材(マイタイムラインリーダー等)

⑮スマホアプリ等の活用促進に向けた災害情報コンテンツの連携強化

B：災害情報我がことプロジェクト
 ～災害情報のローカライズの促進と個人カスタマイズ化の実現～

○既存のスマートフォン防災アプリやSNSを使って、利用者自らがあらかじめ災害時に必要となる情報を登録しておくことで、発災時には、利用者は直接必要な災害情報を得られる。このような機能の活用促進に向けて、行政とメディアの災害情報コンテンツにおける連携を強化する。

⇒広島県がYahoo!と共同開発した「大雨警戒レベルマップ」の提供を開始。

※青字:共有プロジェクトでの取り組み

由良川の取組(案)

○防災情報アプリを運用して住民が直接必要な災害情報を得られるようにする



Twitterのリスト機能を利用して、
防災情報をまとめて取得



大雨警戒レベルマップ画面

通知を受け取る地域を設定すると
土砂災害警戒情報を受信可能



防災アプリの活用
(NHK, Yahoo!)



LINEニュースから
避難情報を取得



土砂災害警戒情報の
通知画面

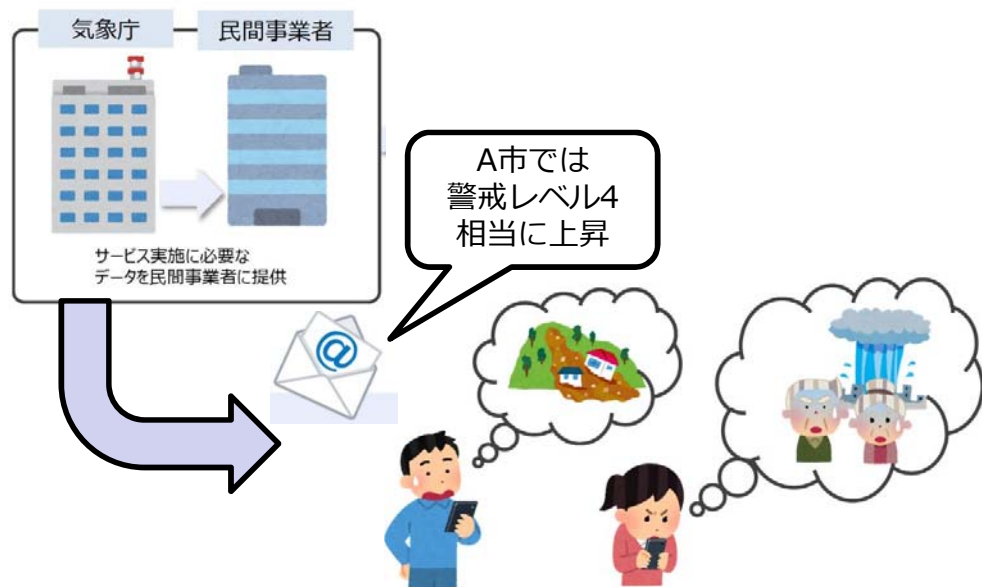
由良川の取組状況については次のページに記載

由良川における取組事例(京都地方気象台)

○「大雨・洪水警報の危険度分布」について、速やかに避難が必要とされる警戒レベル4に相当する「非常に危険（うす紫）」などへの危険度の高まりをスマートフォンアプリによるプッシュ型で通知するサービスを活用（気象庁の協力）

<サービスの概要>

ユーザーが登録した地域の危険度が上昇したとき等に、メールやスマホアプリでプッシュで知らせる。



画像：日田市職員提供（平成29年7月5日）



⑬河川監視カメラ画像の提供によるリアリティーのある 災害情報の積極的な配信

C：災害リアリティー伝達プロジェクト
～画像情報の活用や専門家からの情報発信など
切迫感とリアリティーの追求～

○リアリティーのある気象の状況や河川の状況を住民一人一人に伝達するため、河川監視カメラを活用し、通常の文字情報に加え、画像・映像によるリアリティーのある災害情報の積極的な配信を行う。

⇒CCTVカメラの静止画像をYahoo!、ドワンゴに、NHKに提供。

⇒各地方整備局でYouTubeによる動画配信を拡充

※青字:共有プロジェクトでの取り組み



CCTV静止画のWeb提供
(出典: Yahoo! JAPAN)



簡易型カメラを新設

由良川の取組案については次のページに記載

⑯河川監視カメラ画像の提供によるリアリティーのある 災害情報の積極的な配信

C：災害リアリティー伝達プロジェクト
～画像情報の活用や専門家からの情報発信など
切迫感とリアリティーの追求～

由良川の取組(案)

○リアルタイム防災情報や川の防災情報や水位情報、Youtubeコンテンツについて情報共有及び連携し、住民（視聴者）に周知

○近畿地方整備局河川部YouTube公式アカウントにおいて、16河川等（66箇所）の河川等監視カメラ映像を配信。
由良川流域では、3箇所の河川監視カメラ映像がリアルタイムで配信されている。



河川監視カメラ映像等配信箇所一覧
(由良川)

水系等	河川名	監視カメラ設置箇所
由良川水系	由良川	右岸 8.6 k 大川橋
		右岸37.2 k 猪崎
		右岸47.6 k 以久田橋

河川監視カメラ映像配信状況
(令和2年9月3日)

⑱水害・土砂災害情報を適切に伝えるため専門家による解説を充実

C：災害リアリティー伝達プロジェクト
～画像情報の活用や専門家からの情報発信など
切迫感とリアリティーの追求～

○国土交通省職員など普段現場で災害対応に当たっている
専門家がリアルタイムの状況をテレビやラジオなどのメディア
で解説し、状況の切迫性を直接住民に伝える。

⇒国土交通省職員等の専門家による解説報道を実施。

⇒地方整備局と気象台との合同説明会を実施。

※青字：共有プロジェクトでの取り組み

由良川の取組(案)

○大雨の影響による河川の増水や最新の状況、今後の見
通しについて解説

○台風説明会や特別警報発表時の記者会見を実施し、早
期注意情報（警報級の可能性）が「中」以上の場合にTV
会議システムによる気象解説を実施

○国土交通省職員による解説報道



○近畿地方整備局と気象台の共同会見イメージ



専門家による解説の放映状況（令和元年8月台風10号） 気象台との共同記者会見の状況（令和元年10月台風19号）

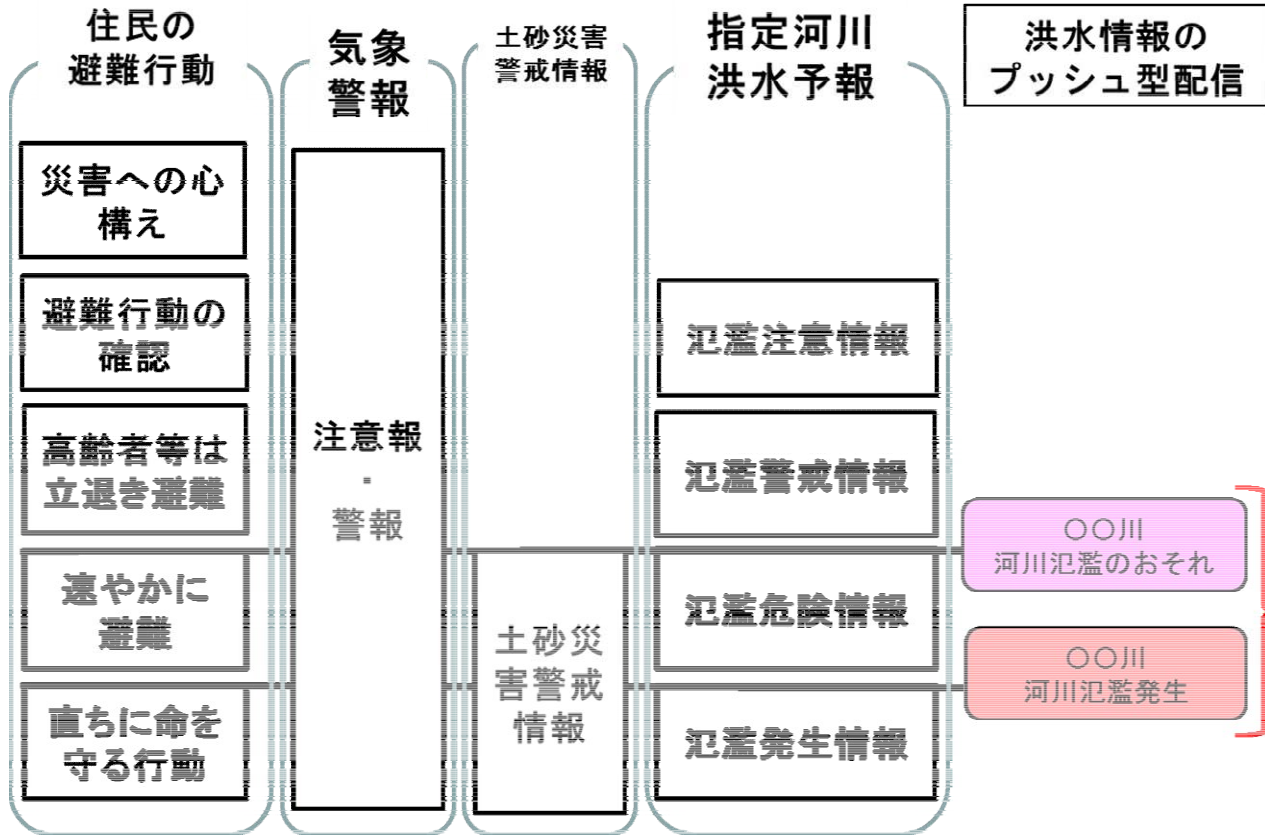
⑱住民自らの避難行動のためのトリガー情報の明確化

D：災害時の意識転換プロジェクト
 ～災害モードへの個々の意識を切り替えさせる
 トリガー情報の発信～

○関係機関との連携のもと、各種防災情報における住民自らの行動(避難準備や避難開始)のためのトリガーとなる情報を明確化し、これらのトリガー情報について適切なタイミングで発信する。
 ⇒警戒レベル相当情報を付した、洪水予警報、土砂災害警戒情報の発表開始。
 ※青字:共有プロジェクトでの取り組み

由良川の取組事例(綾部市)

○警戒レベル相当情報を付した、防災情報の発表



正規

〇〇川氾濫危険情報

〇〇川洪水予報第〇号
 洪水警報
 平成〇〇年〇月〇日〇時〇〇分
 〇〇河川事務所・〇〇地方気象台 共同発表

(見出し) **【警戒レベル4相当情報【洪水】】**〇〇川では、氾濫危険水位に到達し、氾濫のおそれあり

(本文) **【警戒レベル4相当】**〇〇川の〇〇〇水位観測所(〇〇県〇〇市〇〇)では、〇〇日〇〇時〇〇分に、避難勧告等の発令の目安となる「氾濫危険水位」に到達しました。〇〇市、〇〇市、〇〇市、〇〇町では、〇〇川の堤防決壊等による氾濫により、浸水するおそれがあります。市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとって下さい。

〇〇県土砂災害警戒情報 第3号

令和元年x月x日 xx時xx分
 〇〇県 〇〇地方気象台 共同発表

【警戒対象地域】
 〇〇市 〇〇市* 〇〇市* 〇〇市

*印は、新たな警戒対象となった市町村を示します。

【警戒文】
 <概況>
 降り続く大雨のため、土砂災害警戒区域等では命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない非常に危険な状況です。
 <とるべき措置>
避難が必要となる危険な状況となっています【警戒レベル4相当情報【土砂災害】】。崖の近くや谷の出口など土砂災害警戒区域にお住まいの方は、市町村から発令される避難勧告などの情報に留意し、少しでも安全な場所への速やかな避難を心がけてください。
 <補足情報>
 市町村内で危険度が高まっている区域は、〇〇県や気象庁のホームページで確認できます。
 〇〇県「土砂災害に関するメッシュ情報」、気象庁「大雨警報(土砂災害)の危険度分布」

警戒レベル相当情報を付した文例

プッシュ型配信のタイミング

- 氾濫危険水位
市町村長が**避難勧告**を発令する目安となる水位
- 氾濫の発生
市町村長が**避難指示**を発令する目安となる水位
- 氾濫の発生
堤防が壊れ、河川の水が大量にあふれている

○緊急速報メールを受信した際に適切な行動をとることができるよう、緊急速報メールは「生命に関わる緊急性の高い情報」であることをテレビやラジオ等のメディアを通じて周知する。

⇒各メディアにおいて周知を実施。

⇒引き続き、各メディアや政府広報等により周知を継続。

※青字：共有プロジェクトでの取り組み

「生命に関わる緊急性の高い情報」を、
特定のエリアの対応端末に配信するもの。

受信した場合は、
防災無線、テレビ、ラジオ等を活用し、お住
まいの自治体の指示に沿って落ち着いて行動
してください。



由良川の取組(案)

○警戒レベルや緊急速報メールの意味、配信タイミング等について、メディア関係者へ情報共有及び連携し、住民に周知

■広報誌への周知例

防災情報、いつでも入手できますか?
普段から複数の手段に慣れ、緊急時に活用できるよう準備をしましょう!
危機管理室 ☎24-7503・☎23-6537

市民のみなさん

見る 検索する 電話をかける

① テレビ ラジオ ② インター ネット ③ テレフォン ガイド システム

④ 防災行政 無線 ⑤ メール アプリ SNS ⑥ 広報車 による よびかけ ⑦ 地域 による よびかけ

自ら操作して入手する情報 自動的に受信できる情報

テレビのdボタン
NHK放送を見ているときに、リモコンのdボタンを押せば、地域の天気予報やニュース、発令中の避難情報も見ることができます。

京都FM丹波 79.0MHz
災害情報や、防災行政無線の放送内容をお知らせしています。

福知山市ホームページ
災害情報や、防災行政無線でお伝えした内容などを随時更新します。また、防災情報ライブカメラのページから、市内に設置したライブカメラ画像を見ることができます。

気象台ホームページ
天気予報や、台風の状態、気象レーダーによる降水状況、注意報・警報などの情報を見ることができます。 http://www.jma.go.jp/

国土交通省 川の防災情報
由良川の河川水位や流域の降水情報を見ることができます。 http://www.river.go.jp/

京都府河川防災情報
京都府内の河川水位や降雨情報を見ることができます。 http://risuibousai.pref.kyoto.jp/

テレフォンガイドシステム
防災行政無線の放送内容を電話で確認できます。 0773-25-1122

何もしなくても受け取れる情報

防災行政無線
午後5時のメロディーチャイムなどが流れている屋外のスピーカーで防災情報をお知らせします。

緊急告知防災ラジオ
防災行政無線で防災情報を放送する際に、自動で起動し同じ内容を放送するラジオです。由良川流域にお住まいの要配慮者を対象に、無償貸与制度があります。幸三和・夜久野・大江地区を除く。

緊急速報メール
市からの避難情報や、由良川の氾濫情報など緊急度の高い情報を、福知山市内の携帯電話に一斉送信します。

登録しておけば受け取れる情報

Yahoo!アプリ「防災速報」
本市からの防災情報のほか、豪雨予報、警報、避難情報などをニュース速報する無料アプリです。パソコンや携帯メールにも対応!

スマホアプリ LINE@
あらかじめ友達登録をした人へ、福知山市からの情報や防災行政無線の放送内容などを配信します。

防災・防犯メール
防災行政無線の放送内容などを配信します。

②新聞等の紙メディアとネットメディアの連携

○台風接近時等のタイミングで、避難行動を解説する記事の掲載と合わせて、二次元コードを新聞紙面に表示して災害情報サイトにリンクさせるなど、紙面からネット情報に導く。

③テレビ等のブロードキャストメディアからネットメディアへの誘導

○災害時に、災害情報サイトへリンクする二次元コードをテレビ画面等に掲載することで、住民が容易にネット上の災害情報ページにアクセスして必要な情報をシームレスに取得できる環境を構築する。

⇒地方新聞社連盟の加盟各社、NHK、民放連に県別ハザードマップサイトの2次元コードを配布。

⇒地方メディア連携協議会で、地域別の2次元コードを配布。

※青字：共有プロジェクトでの取り組み

④様々なメディアでの行政機関の災害情報サイトの活用

○各メディアの災害報道において、行政機関の災害情報サイトを活用してもらうとともに、各メディアのホームページ等においても、災害情報サイトへのリンクを掲載してもらうなど、災害情報の相互活用を促進する。

⇒防災情報に関するリンク集を各メディアに配布。

※青字：共有プロジェクトでの取り組み

由良川の取組(案)

○メディア関係者と連携して、防災情報コンテンツ等の二次元コードを住民に拡散する

○メディア関係各社のHPにて各種防災コンテンツにリンクを掲載



②⑤ 災害情報のSNSへの発信力の強化

E：災害情報メディア連携プロジェクト
～災害情報の入手を容易にするためのメディア連携の促進～

○防災情報提供サイトにおいて、SNSへのリンク共有機能を追加すること等により、災害情報の拡散、共有化を図る。
⇒「川の水位情報」サイトにSNS投稿ボタンを追加。

※青字：共有プロジェクトでの取り組み

②⑦ ハッシュタグの共通使用、公式アカウントのリンク掲載による情報拡散

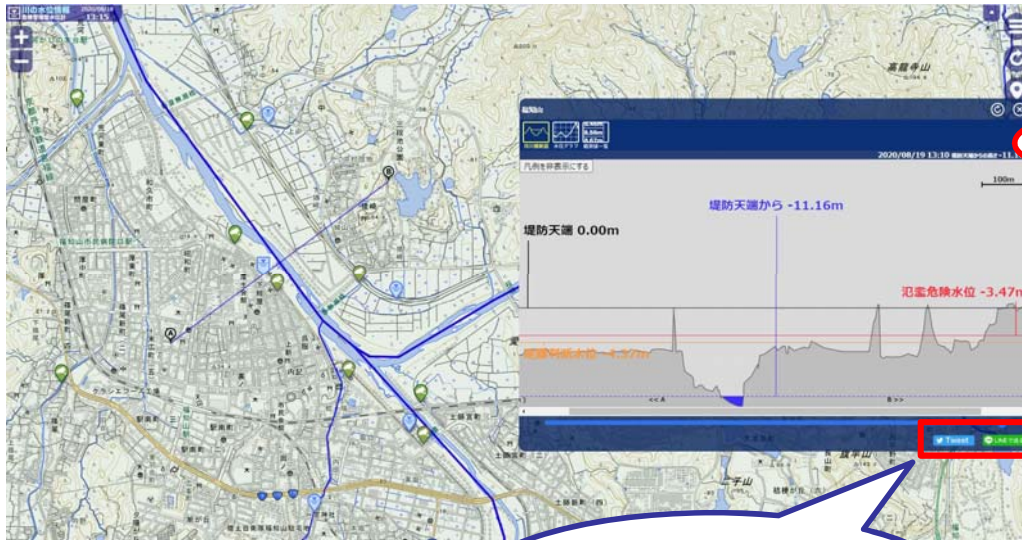
○SNSを使った情報発信に当たっては、メディア間で災害時に用いる特定のハッシュタグの共通使用や、公式アカウント上で災害情報のリンク掲載等により、災害情報の共有化と拡散を促進する。
⇒公式アカウントでの試行を踏まえて、災害情報におけるSNS活用手引きを作成予定。

※青字：共有プロジェクトでの取り組み

②⑤②⑦ SNSを活用した情報拡散

由良川の取組(案)

○公式アカウントに、災害情報の入手先を掲載し災害情報の拡散、共有化を実施



LINEやTwitterのボタンを追加

川の水位情報(例:由良川 福知山位観測所)

国土交通省 福知山河... 2018/07/06
7/6 (金) 午前5時20分現在の由良川の状況です。
今後の気象情報にご注意ください。#由良川

ハッシュタグを利用

国土交通省 福知山河川国道事務所
@mlit_fukuchi

国土交通省近畿地方整備局福知山河川国道事務所です。当事務所が実施する事業等の他、災害対応といった取り組みに関する発信をすることを通じ、福知山河川国道事務所の業務について理解を深めていただくことを目的として、Twitterによる情報発信を行います。発信専用のため、お問い合わせにつきましては事務所HPからお願いいたします。

© 京都府福知山市字福小字今岡2459-14
kkr.mlit.go.jp/fukuchiyama/

2017年11月からTwitterを利用しています

33 フォロワー 940 フォロワー

国土交通省 近畿地方整備局 福知山河川国道事務所

防災情報
Disaster Prevention

防災情報

リアルタイム情報

由良川リアルタイム防災情報

河川情報の入手先について情報発信

26 行政機関によるSNS公式アカウントを通じた情報発信の強化

○行政機関がTwitter、LINE等のSNS上の公式アカウントを積極的に活用した情報発信を行うことで、信頼性の高い災害情報を利用者にリアルタイムで提供する。また、SNSメディアとの連携により行政職員に対する研修等を実施し、より効果的な公式アカウントの運営を促進する。

⇒公式アカウントを通じた災害情報の発信強化を試行。

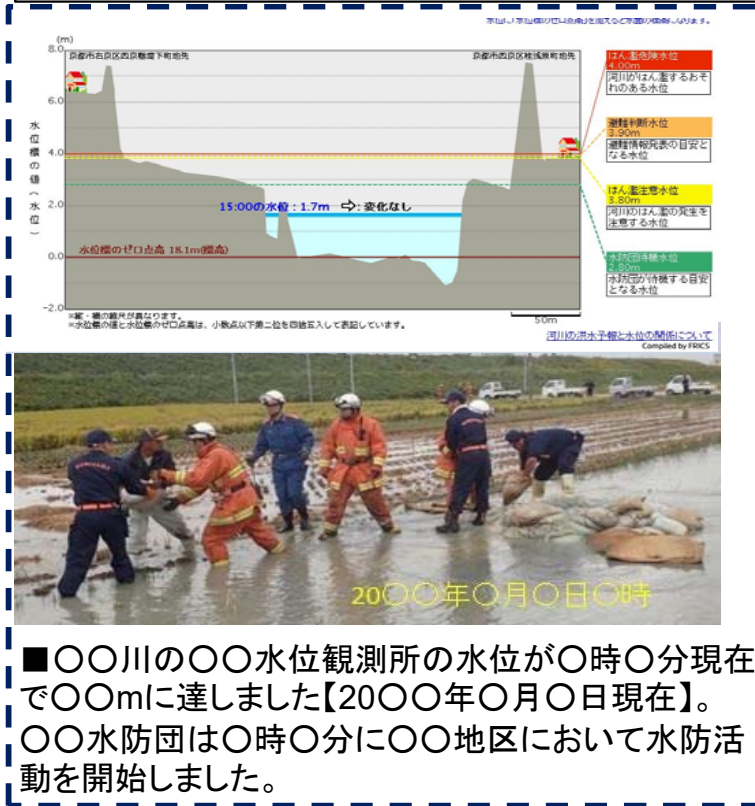
※青字：共有プロジェクトでの取り組み

28 SNS等での防災情報発信及びリツイート

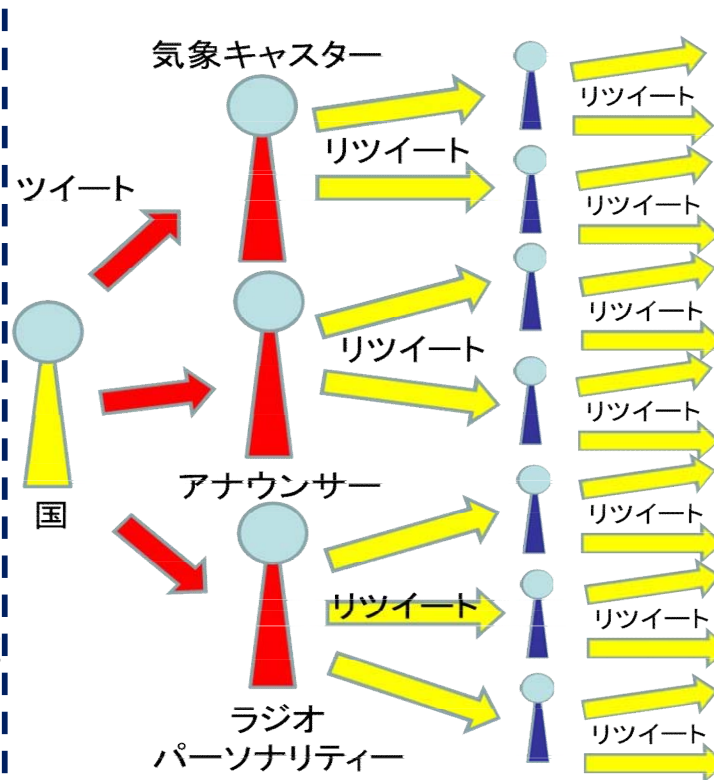
○気象キャスター、ラジオパーソナリティー、アナウンサー等が、公式アカウントのツイートに対して積極的なリツイートを実施することで、発信元が確かな災害情報の拡散を図る。

⇒国交省事務所SNSアカウント一覧を作成、Webで公開、各メディアへ配布。

※青字：共有プロジェクトでの取り組み



Twitter配信イメージ例



リツイートで多くのフォロワーに情報が拡散



福知山河川国道事務所
LINEアカウント

由良川の取組案については次のページに記載

由良川の取組(案)

- 関係メディアによる公式アカウントのフォロワー登録及び積極的なリツイートにより、信頼性の高い災害情報をリアルタイムに提供
- 緊急記者会見をYouTubeによるライブ中継を実施
- TikTokと連携した防災気象情報の普及啓発コンテンツの配信
- 令和元年度6月より、近畿地方整備局河川部及び各事務所にて順次、公式Twitterアカウントを開設し、災害に関する注意喚起、防災情報・カメラ映像などの防災情報を発信開始。



近畿地方整備局河川部 公式Twitter
(令和元年8月台風10号)



福知山河川国道事務所HP



福知山河川国道事務所
Twitter画面

	Twitter	Youtube
近畿地方整備局河川部		
近畿地方整備局福知山河川事務所		

近畿地方整備局河川部
・福知山河川国道事務所
SNS一覧

SNSリンク一覧サイト



○本プロジェクトのような全国的な連携とは別に、地方におけるメディア連携協議会を、例えば、地域に既に設置されている大規模氾濫減災協議会の下部組織に設置し、地方毎のメディア関係者（地方紙、地域CATV、地域ラジオ、NHK地方局、地域民放等）の参加の下、関係者の連携策と情報共有方策の具体化を検討する。また、メディアも連携した防災訓練を実施し、地域の取組を強化する。

⇒各地域において、地域メディア連携協議会を開催。近畿地方では、近畿地方メディア連携協議会を開催。

※青字：共有プロジェクトでの取り組み

由良川の取組(案)

○由良川メディア連携協議会を開催し、より地域に沿った災害情報の発信及び地域コミュニティの防災力強化に向けた取組を実施

○協議会への参加を通じて各種取り組みに対する関係機関との連携を深める

行政とメディアの連携策を共有する場を設置

メディア連携協議会

国土交通省

地方気象台

都道府県

市町村

地方新聞社

地域民放

地域ラジオ

NHK地方局

地域ケーブルテレビ

気象キャスター

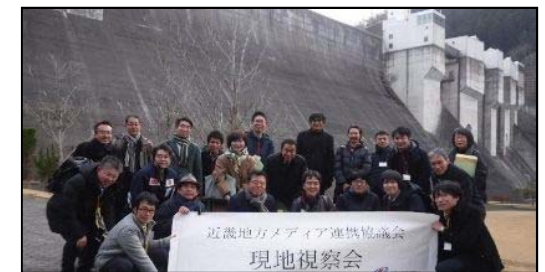
○近畿地方メディア連携協議会を開催

- 令和元年6月12日 第1回近畿地方メディア連携協議会 開催
- 令和元年9月19、20日 意見交換会（共同勉強会）開催
- 令和2年1月18日 現場視察会（淀川） 開催
- 令和2年2月26日 第2回近畿地方メディア連携協議会 開催
- 令和2年7月30、31日 第3回近畿地方メディア連携協議会 開催
- 令和2年11月18、19日 第4回近畿地方メディア連携協議会 開催

現場視察会の様子



毛馬排水機場



日吉ダム

○「避難インフルエンサー(災害時避難行動リーダー)」※を育成・支援するとともに、災害時には、信頼性が高く切迫度が伝わる防災情報を届け、避難インフルエンサーからの周囲への積極的な情報拡散を促すことで、地域コミュニティの中での高齢者を含む情報弱者に対する支援の強化を図る。

⇒モデル地区での人材育成の取組を試行。

⇒試行を踏まえ、避難インフルエンサーの育成・支援に関する手引き書を作成予定。

※青字:共有プロジェクトでの取り組み

由良川の取組(案)

- 地域防災リーダー研修等を実施し、避難インフルエンサーとなる人材を育成する
- コミュニティラジオに消防団員が出演し、団員確保を呼びかけ。

平常時

○「避難インフルエンサー」育成・支援策

- ・災害や避難に関する情報への理解を促すため、「避難インフルエンサー」に対して勉強会を実施
- ・「避難インフルエンサー」と自治体が連携し、災害時における地域の円滑な避難に向けた意見交換会や避難訓練等を実施

(例)

小学校での水防災学習等の推進
⇒水防災教育で学習した児童が家庭内や将来の「避難インフルエンサー」候補となることを期待



○地域の大人や児童、関係機関による避難訓練



○ダム下流住民及び関係機関への説明



災害時

・「避難インフルエンサー」からの情報、地域の連携・協働による円滑な避難

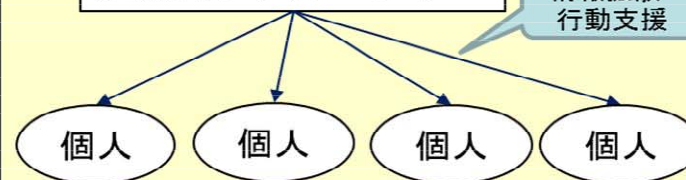
国、都道府県、市町村、メディア



災害情報伝達

避難インフルエンサー

情報拡散・行動支援



連携・協働し、避難

※「避難インフルエンサー(災害時避難行動リーダー)」とは、災害情報を正しく理解し、発信できる人・信頼される人で、災害時にはリーダーとなって高齢者を含む周囲の人たちに情報を拡散させることで、避難に対して大きな影響を与える人。

③登録型のプッシュ型メールシステムによる高齢者避難支援

「逃げなきゃコール」

F：地域コミュニティ避難促進プロジェクト
～地域コミュニティの防災力強化と情報弱者へのアプローチ～

○災害情報に関する登録型のプッシュ型メールを充実させ、一人暮らしの親等が住む地域の水位情報や浸水リスクを、離れて暮らす子供等親族に通知。親族による避難の声かけ(人から人)を支援し、住民の避難行動を促す

⇒NHK、Yahoo!、KDDI、国交省が「逃げなきゃコール」キャンペーンを開始。

⇒引き続き、広報キャンペーンへの参画者募集予定。

※青字:共有プロジェクトでの取り組み

由良川の取組(案)

○「逃げなきゃコール」について、由良川メディア連携協議会で情報共有を行い、由良川流域4市(福知山市、綾部市、舞鶴市、宮津市)の住民及びその家族に周知

